

第25回関東女子ラグビーフットボール大会 開催要項（一般の部）

関東ラグビーフットボール協会女子委員会
大会実行委員長 並木 富士子
大会実行副委員長 安達 三枝

1. 目的

- ① 関東地区における女子ラグビーチームの交流と、15人制ラグビーのレベルアップを図る。
- ② 様々なグレードの試合を行うことにより女子ラグビーの底辺拡大を図る。

2. 主催 関東ラグビーフットボール協会

3. 協力 埼玉県ラグビーフットボール協会

4. 日程および会場

- ① 10月12日（日） 熊谷ラグビー場 Bグラウンド
- ② 10月26日（日） 熊谷ラグビー場 Bグラウンド
- ③ 11月 2日（日） 熊谷ラグビー場 Bグラウンド

5. 参加資格

- 参加チーム：関東ラグビーフットボール協会に加盟しているチームであること。
- 参加選手：18歳以上の女子選手（高校生は不可）。

各参加チームの全選手、全スタッフは、各協会に登録していること。

既往歴（内科的疾患も含む）のある選手は、予め大会本部に連絡し、医師診断書を持参すること。

※ スポーツ安全保険に加入していること。

※ 未登録の選手および保険に加入していない選手は参加できない。

※ 本大会の選手登録用紙提出期限までに手続きを済ませること。（大会中の追加登録を可とする）

※ ヘッドキャップ、マウスガードを着用すること。

6. 選手登録

選手登録用紙(ダウンロード)にもれなく記入し、**10月6日(月)**までにメールにて提出すること。

提出先：E-mail fujiko_namiki@hotmail.com 並木 富士子宛

* 合同チームは、合同チームでまとめて申込みをすること。

* 申し込みの際に、合同チームは、チーム名を決めて申し込みをすること。

7. 参加費

- (1) 大会参加料 1,000円/名
- (2) 交通費、宿泊費用等は、自弁とする。
- (3) 試合中に発生した負傷等の医療費は、各チーム・個人の負担とする。

8. 競技規則

- (1) 2014 年度版 IRB 競技規則にて実施する。
- (2) IRB 世界的試験実施ルールを実施する。
- (3) 試合時間は、40 分ハーフとし、ハーフタイムは 10 分以内とする。

なお、原則としてロスタイムはとらない。

- (4) 試合当日の選手の登録は、23 名以内とする。
 - ・フロントローについては 3 名まで、その他の選手は 5 名まで入れ替える事ができる。
 - ・フロントローの人数は、原則として次の表の通りとする。

(IRB 競技規則 3.5)

指名人数	フロントローの人数
1 5 名以下	3 名
1 6 名から 1 8 名	4 名
1 9 名から 2 2 名	5 名
競技規則 3.14 により 2 2 名または 2 3 名	6 名

- (5) 選手が 15 人に満たない場合および 23 人に満たない場合の対応。
 - ・対戦チーム以外の他のチームから借りることを可とする。その場合、当該チーム同士で話し合い決めること。
 - ・借りることができる選手は、すでにその選手が自チームにおいて、80 分間プレーした選手または、その可能性のある選手以外の選手のなかから選ぶこととする。
 - ・登録することができる人数は、23 名以内とする。
 - ・自チームの選手は、全員スタートメンバーとなり、不足している人数のみ借りた選手を入れることができる。例：自チーム 13 名の場合は、2 名を借りた選手とする。
 - ・借りた選手の交替／入替は、出血及び傷口が開いている場合の一時的交替か正式な負傷による交替のみとする。
 - ・借りた選手を戦術的理由で入れ替えることを認めない。
 - ・入れ替わった選手は、負傷した選手の交替として、その試合に再び加わることができる。
- (6) 選手の入替え及び交替は、大会が用意した入替／交替カードに必要事項を記入し、MO または、競技役員に提出し、レフリーの指示に従って行うものとする。

9. 競技方法

- (1) リーグ戦方式にて行い、勝点の多いチームから順に順位を決定する。
- (2) 順位の決定

試合終了毎に、勝点（勝ち：4 点、引き分け：2 点、負け：0 点）を与え、全試合終了時の勝点総計に基づいて順位を決定する。勝点と同数の場合は、次の順序で順位を決定する

- ① 全試合終了時に勝点と同数の場合は、得失点差の多いチームから上位とする。
- ② 得失点差が同数の場合は、トライ数の多いチームから上位とする。
- ③ トライ数が同じ場合には、コンバージョン数の多いチームを上位とする。
- ④ 上記全てが同じ場合には、抽選で順位を決めることとする。

10. 安全面について

- ① ユニフォーム（上下）は、使用ジャージを統一すること。

- ② 各自、保険証を持参すること。
- ③ 各チームの代表者は、選手の緊急連絡先を把握していること。
- ④ 各チームで応急用品（メディカルバック）、アイシング用の氷を必ず用意しておくこと。
- ⑤ 試合時には、各チーム一人ずつメディカル担当者を出しチーム所属選手の対応をすること。
- ⑥ 傷害が発生した場合は、チームから県協会に報告をすること。（関東ラグビー協会年鑑参照）

1 1. プレマッチミーティングについて

- (1) 実施する時刻は、大会マニュアルに記す。
(9月中旬に作成予定：中学生、高校生の試合数によって決定するため)
- (2) 参加者は、大会実行委員長、チーム責任者（又は主務）、審判員、マッチドクター。
- (3) 大会実行委員長の進行により実施する。
- (4) 試合メンバーの最終確認、ブリーフィング、ドレスチェック、コイントス時間及び場所、その他留意事項を確認する。

1 2. 試合前の練習について

試合開始10分前のみグラウンド（インゴールを含め）を使用可能とするが、それ以外は、アップ場を使用すること。グラウンド内でのタックル、コンタクトプレーはできない。

1 3. 参加クラブおよびチーム編

Aチーム：日本体育大学ラグビー部女子

Bチーム：世田谷レディース

Cチーム：TKM（戸塚共立メディカルRC）、ARUKAS QUEEN KUMAGAYA W7RFC、東京 PHOENIX RC

Dチーム：RKU ラグビー龍ヶ崎 GRACE、Rugirl-7、湘南ベルマーレSC、関東学院大学、

1 4. 試合内容

第1日目	10月12日（日）	①A 対 B	②高校生	③C 対 D	④高校生
第2日目	10月26日（日）	①B 対 C	②中学生	③A 対 D	④中学生
第3日目	11月 2日（日）	①A 対 C	②高校生	③D 対 B	⑤高校生

1 5. その他

- ・ 掲示物作成・・・GRACE
- ・ アフターマッチファンクション・・・日本体育大学 女子ラグビー部
- ・ 大会後の会場片付け、忘れも物確認、施錠、事務所に鍵など返却する
・・・（最終試合の係り担当チームが行う）

以上